

梅毒って知ってる？

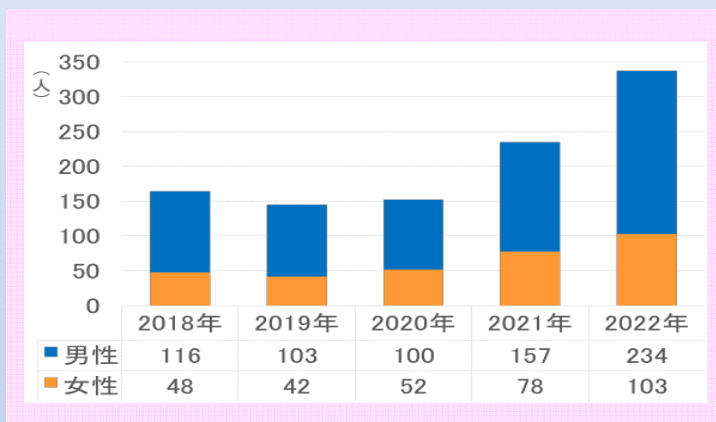


梅毒とは

梅毒は、症状が現れたり消えたりを繰り返しながら徐々に全身を侵していく感染症です。
症状がいったん消えるため、見逃されやすく、さらに感染を広げてしまう危険性が大きいといえます。



千葉県の現状



千葉県では、梅毒患者数が増加傾向にあります。特に、**若い女性**に増えてきています。



原因

梅毒トレポネーマと呼ばれる細菌による感染症です。主に、性的な接触を起因とした性感染症の一種ですが、母子感染により流産・死産・先天梅毒となる可能性もあります。

検査

梅毒かもしれないと思ったら、迷わず血液検査を受けましょう。皮膚科、泌尿器科、産婦人科などの医療機関や地域の保健所での検査が可能です。
保健所では、**無料・匿名**で性感染症の血液検査を行っています。

治療方法

抗菌薬を内服します。
医師の許可を得るまでは、症状が良くなっても自己判断で内服を中断しないようにしましょう。
感染の可能性のある周囲の方（パートナー等）も検査を受け、必要に応じて治療を受けることが重要です。



症状

早期 顕症梅毒 (Ⅰ期)

感染後、3週間前後

感染が起きた局所にしこりや潰瘍などが現れます。痛みを感じず、1か月程度で軽快するため、気付かないことがあります。

早期 顕症梅毒 (Ⅱ期)

感染から3か月

全身に赤い発疹のバラ疹が出たり、性器や肛門に扁平（へんぺい）コンジローマと呼ばれる平らなできものが現れます。

晩期 顕症梅毒

感染から数年～数十年ほど経過

ゴム腫と呼ばれるゴムのような柔らかいできものが皮膚や筋肉、骨などにできます。心臓や血管、脳などの複数の臓器に病変が生じ、時には死に至ることもあります。

先天梅毒

これから妊娠・出産をされる方は要注意！

母親から胎児へも感染してしまいます。胎児が感染すると、死産や早産になったり、生まれてくる子どもの神経や骨に異常をきたすこともあります。

予防方法

- ・コンドームの使用（完全には予防できません）
- ・不特定多数との性交渉を避ける
- ・気になる症状がある場合は早めの受診

